

[高吐]EC療法

外科 管理番号 D5

処方医:

適応症:乳癌

3週を1コースとして4~6コース繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
エピルビシン	●																					●
エンドキサン	●																					●

身長: \_\_\_\_\_ cm 体重: \_\_\_\_\_ kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

[投与スケジュール] ( \_\_\_\_\_ クール目)

心電図チェック(投与毎)

Day1( 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食250mL [2時間 点滴静注]	1瓶	アロキシ点滴静注バッグ0.75mg デキサート注 [30分 点滴静注]	1袋 9.9mg
		生食100mL エピルビシン 75mg/m <sup>2</sup> [30分 点滴静注][壊死性]	1瓶
		生食250mL エンドキサン 600 mg/m <sup>2</sup> [1時間 点滴静注][炎症性]	1瓶
		[静注]	1管

プラ

DAY2( 月 日)~3( 月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1×朝食後

必要により

[DLF]

エンドキサン

骨髄抑制および出血性膀胱炎

エピルビシン

肝障害時用量調節

エピルビシン

腎障害時用量調節

エンドキサン

[適正使用基準]

1. 出血性膀胱炎がない
2. ペントスタチンと併用していない
3. 重症感染症またはその疑いがない
4. アントサイクリン系の累積投与量に注意すること(総投与量が550mg/m<sup>2</sup>以下である)
5. 心疾患の既往がない
6. 心機能の評価
  - ①不整脈がなく、心電図も非特異的T波変化までである。
  - ②心駆出率(ejection fraction;EF)が十分である(50%以上)
7. PS(Performance Status)が0~2である
8. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

血液一般検査	WBC (/μL)	4000≤
	Neut (/μL)	1600≤
	PLT (/μL)	15万≤
	HGB (/μL)	11.0≤
血清生化学検査	GOT (IU/L)	≤40
	GPT (IU/L)	≤35
	Tbil (mg/dL)	≤1.2
	BUN (mg/dL)	≤20
	Cr (mg/dL)	≤1.1

[肝・腎機能を考慮した投与量の調節]

エンドキサン

Tbil	<1.5	1.5~3.0	3.0~5.0	5.0<
GOT	<60	60~180	180<	
投与量	100%	50%	25%	中止

エンドキサン

(今回の投与量) (累積投与量)

\_\_\_\_\_ mg \_\_\_\_\_ mg

エピルビシン

(今回の投与量) (累積投与量)

\_\_\_\_\_ mg \_\_\_\_\_ mg

Ccr>50	Ccr10~50	Ccr<10
減量なし	25%減量	50%減量

エピルピシン

[白血球・好中球を考慮した投与量の調節]

WBC	3000 ≤	≤ 3900	≤ 2900
Neut	1500 ≤	≤ 1990	≤ 1490
EPI	・原則として100%を慎重投与 ・骨転移例75%に減量投与 (以下この量で継続)		・1週間延期後、回復を確認後100%を慎重投与 (次回以降の投与は4週間毎) ・2週間投与を延期して、回復してなかった場合は 50~75%に減量して投与

[肝機能を考慮した投与量の調節]

TBil	< 3.0	3.0~5.0	5.0<
GOT	< 180	180<	
CPA	100%	75%	中止

[アントサイクリン系抗腫瘍剤の換算表]

トキソルピシンDXR	X1.00(mg)
アクリルピシンACR	X0.27(mg)
ダウルピシンDNR	X0.56(mg)
ミキサントロンMIT	X3.13(mg)
エピルピシンEPI	X0.56(mg)
ピラルピシンTHP	X0.40(mg)
イダルピシンIDR	不明

[DLFを除く重大な副作用]

《エピルピシン》

- ・ショック【チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等】
- ・萎縮膀胱(膀胱内注入療法時)【下腹痛等】

《エンドキサン》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状【血圧低下・呼吸困難・喘鳴・蕁麻疹・不快感等】
- ・イレウス、胃腸出血【腹痛・吐血・下血・腹部膨満感等】
- ・間質性肺炎、肺繊維症【咳・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・心筋障害、心不全【胸痛・呼吸困難・むくみ等】
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症【紅斑・発熱・関節痛・下痢等】
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)【むくみ・痙攣・意識障害等】